様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年5月16日

神　戸　市　長　　殿

提出者
住　所 姫路市北条951番地1
氏　名 美樹工業株式会社
代表取締役社長 岡田 尚一郎
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 079-281-5151

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

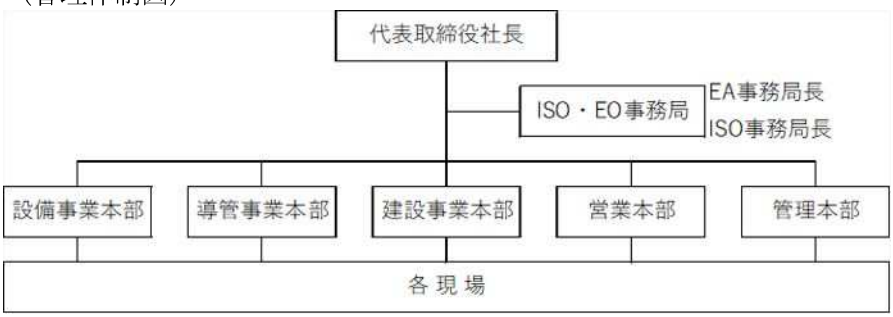
事　業　場　の　名　称	28JS000280　美樹工業株式会社　神戸支店
事 業 場 の 所 在 地	神戸市中央区港島中町1丁目1番地の３
計　　画　　期　　間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事　業　の　種　類	0600 総合工事業
②事　業　の　規　模	完成工事高 155億9064万円
③従　業　員　数	273人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	◆がれき類/コンクリートガラ/アスファルトガラ/建設混合廃棄物/ガラスくず/コンクリートくず/陶磁器類くず 運搬 → 破砕・選別 → 最終処分場・リサイクル ◆金属くず/廃プラスチック類 運搬 → 破砕・圧縮 → リサイクル ◆廃石綿等 運搬 → 埋立・みなし中間処理 → 最終処分場 ◆廃油 運搬 → 保管 → リサイクル ◆木くず 運搬 → 破砕 → 焼却・リサイクル

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
（管理体制図）  			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①　現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	排　　出　　量	6,137ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 各現場における自主的な管理基準を設定し、環境管理レベルの向上をはかる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	排　　出　　量	5,524ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 安定型混合廃棄物の仕分け。梱包用段ボール等、納品業者に回収してもらい、再度梱包の使用を目指す。がれき類は、道路の非開削工法により、アスファルト、コンクリートの排出量を減少させる。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ガス器具などの金属類、建設資材などの梱包用段ボールなどの仕分け。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ガス器具などの金属類、建設資材の梱包用段ボールなどを仕分けする。梱包用段ボール等、納品業者に回収してもらい、再度梱包の使用を目指す。		

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和4年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙1の通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>6,137 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>6,137 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
各現場における自主的な管理基準を設定し、環境管理レベルの向上をはかる。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙1の通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>5,524 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>5,524 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
各現場における自主的な管理基準を設定し、環境管理レベルの向上をはかる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法 - 産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和4年度)実績量

計画：今年度(令和5年度)実績量

単位：トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量（前年度実績値の①）		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の②＋⑧）		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の⑤）		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量（前年度実績値の⑦）		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量（前年度実績値の③＋⑨）		全処理委託量（前年度実績値の⑩）		優良認定処理業者への処理委託量（前年度実績値の⑪）		再利用業者への処理委託量（前年度実績値の⑫）		認定熱回収業者への処理委託量（前年度実績値の⑬）		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量（前年度実績値の⑭）	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
200 汚泥	3.0	2.7									3.0	2.7			3.0	2.7				
600 廃プラスチック類	2.5	2.3									2.5	2.3			2.5	2.3				
800 木くず	14.3	12.9									14.3	12.9			14.3	12.9				
1300 ガラスくず等	23.8	21.4									23.8	21.4			23.8	21.4				
1500 がれき類	5986.8	5388.1									5986.8	5388.1			5986.8	5388.1				
2010 建設混合(安定型)	3.5	3.2									3.5	3.2			3.5	3.2				
2020 建設混合(管理型)	103.5	93.2									103.5	93.2			103.5	93.2				